

格式高い厳肅な神前結婚式では、お二人の幾久しい幸せ、御両家の繁栄を祈念する祝詞が奏上されます。愛と希望に満ちたお二人の出発に相應しい真心込めた儀式が執り行われる居木神社にて是非心に残る神前挙式を。

新副都心の大崎駅から程近い閑静な住宅街に鎮座する居木神社は、風そよぐ心地よい空間であり、都会の中の緑豊かな心のオアシスです。



大崎鎮守

居木神社

神前結婚式のしおり



【交通アクセス】

- J R 山手線・埼京線・湘南新宿ライン、東京臨海高速鉄道りんかい線「大崎駅」北改札西口から徒歩3分
- 車でお越しの方は事前にご連絡ください。



【居木神社御由緒】

鎮座年代不詳であるが、「新編武蔵風土記稿」によれば古鎮座の地は目黒川に架けられている居木橋附近に位置し、江戸の初期には溢水の難を避けるため現在の社地に遷座された。その折「五社明神」と称されたが、明治五年ご社号を「居木神社」と改めた。

居木神社社務所 担当：禰宜 森田 義巳

〒141-0032 東京都品川区大崎3-8-20 受付：9:00～17:00
電話：03(3491)7490 FAX：03(3494)0749

<http://irugijinjya.jp>





社務所

控え室(洋室)

控え室(和室)

神前結婚式の次第について

一、参進(さんしん)

神職、新郎新婦、親族の順に御社殿に進む。

一、開式(かいしき)

斎主挨拶、太鼓を打つ。

一、修祓(しゅばつ)

挙式に先立ち、心身を清らかにする儀式。

一、斎主一拝(さいしゅいつぱい)

挙式を始める上での神様への御挨拶。

一、献饌(けんせん)

神様へお供えする儀式。

一、祝詞奏上(のりとそうじょう)

新郎新婦がこれから夫婦になることを奉告し、神様に感謝すると共にその末永い幸せを祈願する。

一、三三九度誓盃の儀(さんさんくどせいはいのぎ)

御神酒を大・中・小三つの盃で互いに汲み交わすことにより、夫婦としての契りを結ぶ。

一、指輪交換の儀(ゆびわこうかんのぎ)

新郎新婦お互いの誓いを込めて指輪を交換する。

一、誓詞奏上(せいしそうじょう)

新郎新婦自ら結婚に対する誓いの言葉を神様に申し上げる儀式。

一、新郎新婦玉串奉奠(たまぐしほうてん)

新郎新婦が心中にて祈念した気持ちで玉串に込めて神前へお供えし、神様に拝礼する。

一、参列者玉串奉奠(たまぐしほうてん)

媒酌人(親族代表)が二人の末永い幸せを祈って神前に玉串をお供えし、参列者揃って神様に拝礼する。

一、親族固めの盃(しんぞくかためのさかずき)

新郎新婦両家の参列者が御神酒を汲み交わし、ひとつの親族としての絆を結びつける。また知人友人との縁を作る盃ともなる。

一、斎主一拝(さいしゅいつぱい)

挙式を修める上での神様への御挨拶。

一、斎主挨拶(さいしゅあいさつ)

太鼓を打った後、斎主挨拶。

挙式所要時間はおよそ30分です。



◇挙式料(初穂料)

5万円

◇雅楽の生演奏

別途3万円(笙・箏・龍笛の三管)

◇お打合せ・リハーサル

有・要予約

◇挙式衣裳

和洋装平服可・持込料なし

◇参列人数

およそ30名様(それ以上は応相談)

◇写真撮影

可・業者紹介有り

◇披露宴会場紹介

可

◇衣裳着付け業者紹介

可

◇御社殿

冷暖房完備・全天候型

◇控室

冷暖房完備

お着替え・ヘアメイク可

◇駐車場

有

◇挙式記念品

神棚・神札・御守・御神供・冊子

居木神社では、披露宴会場、各ブライダル業者をご紹介いたしております。
神社ホームページのリンク先からご覧いただけます。

居木神社御祭神

やまとたけるのみこと

高麗神

大國主命

倉稻魂命

天兒家根命

菅丞相(菅原道真)



手力雄命
淀姫命
大山咋命

を合祀

